

湯沢市商店街の空き店舗を地域活性化に 生かすことはできるのか

湯沢翔北高等学校
普通科3年 織田 陽斗

研究動機

- 商店街を通るたびに**暗い印象**を持ってしまうから
- 市役所の方へのインタビューを通して、経営者の**問題意識**について調べてみたいと思ったから
- 商店街の**活性化**は湯沢市の**活性化**につながると感じたから

空き店舗について

お店を開くことに
難しさを感じてい
るのではないかと

そもそもお店を
開きたいという
人が少ないので
はないかと

少子高齢化も
影響しているの
ではないかと

市役所の方に商店街についてインタビュー

- ・昔の商店街(サンロード、駅前)の様子
- ・市役所側で取り組んでいることと
課題に感じていること

(昭和50年代頃)

アーケードの設置

→きれいで、明るかった

バスの利用

→商店街へ買い物などに行く人が多かった



とても栄えていた！

(現在の状況)


共働きの増加

→車を利用する人が増加


→郊外へ行く人も増加



商店街で買い物をする必要性が低下



コロナの流行



ネットの普及

(取り組み)

- ・補助金
- ・ゆざわbizの設置



湯沢市直営の無料経営相談窓口

経営や創業の相談を無料で何度も行える

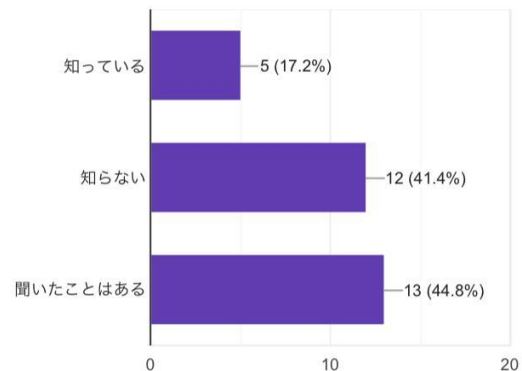
(課題)

- ・経営者の問題意識の改善が必要
- ・買う人、売る人の高齢化

高校生にアンケート

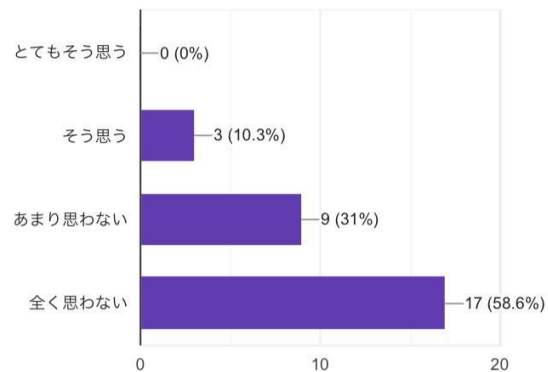
ゆざわBizという施設を知っていますか？

29件の回答



今の時点で、将来自分でお店を開きたいと思っていますか？

29件の回答



Q、学校前の空き店舗を何にすれば良いか？

1, コンビニ

2, 商業クラブの商品販売(翔北タオル、ミツチェリーなど)

3, フードコート

4, 24時間自販機

5, 除雪スポット

その他,アーケードの設置など

いろいろな意見やアイデアが出ました

考察

- ・シャッターを開ける
- ・ゆざわbizの認知度を上げ、積極的に活用する

×

- ・若者の動きやアイデアを取り入れる

➡商店街を活性化できるのではないか

提言

湯沢市商店街に、

「チャレンジワークスペース」

を設けてみては？

チャレンジワークスペースとは？

高校生などの若者が中心となって

「実際に経営を体験できる」

場のことです

※ゆざわbizのアドバイスをもらいながら

チャレンジワークスペースのメリット

- ・職場体験やインターンシップとは違い、
若者自らが中心となって経営をするものなので
働くことの本当の難しさや働きがいを知ることができる
- ・やってみることの大切さを知ることができる
- ・経営者の段階をふむことができる

まとめ

- ・今の状況を一気にには変えられない
→1歩ずつ進めていく必要がある
- ・考えているだけでは変わらない
→実際にやってみることで気付けることがある



湯沢市、若者定住のきっかけや第一歩になる！